マルチメディア

ユーザー ガイド

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2007 年 1 月

製品番号： 431178-291

目次

1　マルチメディア ハードウェアの使用

オーディオ機能の使用

次の図と表で、お買い上げのコンピュータのオーディオ機能について説明します。



名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(2)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(3)	オーディオ出力（ヘッドフォン）S/PDIF コネクタ	サラウンド サウンドや他の高性能オーディオ出力などの拡張オーディオ機能を実現します
(4)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します
(5)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

オーディオ入力 (マイク) ジャックの使用

コンピュータは、別売のステレオ アレイまたはモノラル マイクに対応するステレオ（デュアル チャネル）マイク入力端子を備えています。サウンド録音ソフトウェアに外付けマイクを使用すると、ステレオを録音できます。

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタの使用

警告！ 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。

注意 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル チャネル コネクタをヘッドフォン コネクタに差し込まないでください。

ヘッドフォンの接続に加え、ヘッドフォン コネクタは外部電源付きスピーカやステレオ システムなどのオーディオ デバイスのオーディオ入力機能の接続にも使われます。

ヘッドフォン コネクタへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。

ヘッドフォン コネクタに機器を接続すると、スピーカは無効になります。。

S/PDIF デジタル オーディオの使用（一部のモデルのみ）

S/PDIF（Sony/Phillips Digital Interface）またはデジタル オーディオを使用すると、サラウンド サウンドやその他の高機能オーディオ出力など、より高いオーディオ性能が楽しめます。

デジタル オーディオを接続するには、S/PDIF デジタル オーディオ プラグをオーディオまたはビデオ機器のデジタル オーディオ コネクタに接続します。

注記 S/PDIF オーディオでヘッドフォン コネクタを使用するには、一般の電化製品販売店で入手可能な別売のミニ TOS リンク ケーブルやアダプタが必要です。

音量の調整

音量の調整には、以下のどちらかを使用します。

- コンピュータ本体の音量ボタン：
  - 音量を下げるには、音量下げボタン**(1)**を押します。
  - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタン**(2)**を押します。
  - 音量を上げるには、音量上げボタン**(3)**を押します。



- Windows®音量コントロール：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. 音量を調整するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音量をミュートにします。

  -または-

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックし、**[Open Volume Mixer（音量ミキサを開く）]**をクリックします。

  b. [デバイス]列でスライダを上下に移動して音量を調整します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音量をミュートにすることもできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、次の手順で操作して表示します。

  a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

  b. **[通知領域]**タブをクリックします。

  c. [システム]アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。

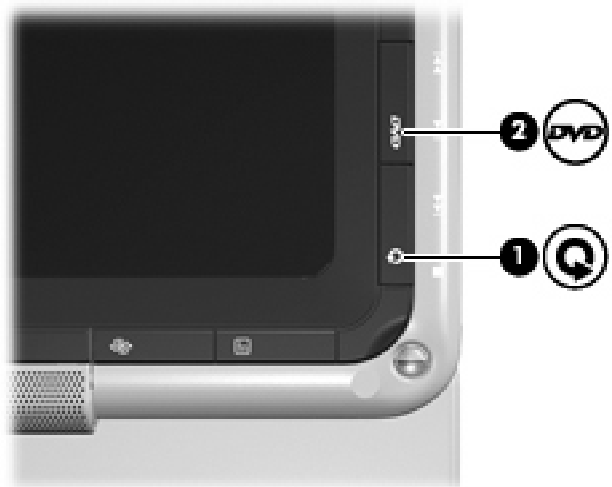
  d. **[OK]**をクリックします。

- 音量調整のプログラム

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

クイック起動ボタンの使用

メディア ボタン**(1)**と DVD ボタン**(2)**の機能は、モデルとインストールされているソフトウェアによって異なります。これらのボタンを使って、映画を見たり、音楽を聴いたり、写真を表示したりできます。



メディア ボタンを押すと、QuickPlay プログラムが起動します。

DVD ボタンを押すと、QuickPlay プログラムの DVD 再生機能が起動します。

注記　コンピュータがログオン パスワードを要求するようにセットアップされている場合、Windows にログオンするように求められることがあります。ログオンすると、QuickPlay が起動します。詳細については、QuickPlay オンライン ヘルプを参照してください。

ビデオ機能の使用

外付けモニタ ポートの使用

外付けモニタ ポートは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ ポートに接続します。



注記 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、fn+f4 キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。

S ビデオ出力コネクタの使用

このコンピュータの 7 ピンの S ビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、オーバーヘッド プロジェクタ（OHP）、ビデオ キャプチャ カードなどの別売の S ビデオ機器を接続できます。

S ビデオ出力コネクタ経由でビデオ信号を送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能な S ビデオ ケーブルが必要です。 DVD の動画をコンピュータで再生してテレビに表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォン コネクタに接続するため、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルが必要です。

このコンピュータの S ビデオ出力コネクタには、1 台の S ビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイに画面を同時に表示できます。

注記　S ビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ機器を S ビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. S ビデオ ケーブルの一方の端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに接続します。



注記　コンピュータを別売のドッキング デバイスに装着しているためにコンピュータの S ビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキング デバイスの S ビデオ出力コネクタに S ビデオ ケーブルを接続します。

2. ビデオ機器に付属の説明書に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。

3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn+f4 キーを押します。

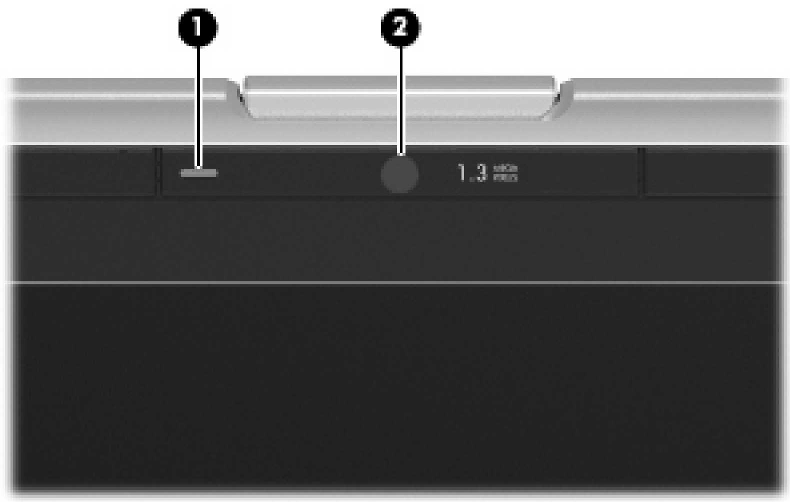
カメラの使用

一部のコンピュータ モデルには、ディスプレイの上部にカメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこのカメラを使用すると、以下のような機能を使用できます。

- ビデオのキャプチャ
- インスタント メッセージ ソフトウェアを使用したビデオのストリーミング
- 静止画像の撮影

注記　内蔵カメラに対応するソフトウェアの使用方法については、そのソフトウェアのヘルプを参照してください。

カメラ ランプ（**1**）は、ビデオ ソフトウェアがカメラ（**2**）にアクセスすると点灯します。



パフォーマンスを最適にするために、内蔵カメラを使用するときには次のガイドラインに従ってください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- 一部のネットワーク ファイアウォール間では、内蔵カメラが正しく動作しないことがあります。他の LAN またはネットワーク ファイアウォール外の人との間でビデオの表示や送信に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダに問い合わせてください。
- できる限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

カメラのプロパティの調整

以下のようなカメラのプロパティを調整できます。

- [明るさ]– 画像に取り込まれる光の量を制御します。明るさの設定が高いほど画像が明るくなり、低いほど暗くなります。
- [コントラスト]– 画像の明るい領域と暗い領域の差を制御します。コントラスト設定が高いほど画像はくっきりとした感じになります。コントラストが低いほど元の情報のダイナミック レンジが多く保存されますが、画像はぼけた感じになります。
- [色合い]– ある色を他の色と区別する色の印象を制御します（色を、赤、緑、青などとするもの）。色合いは鮮やかさとは異なります。鮮やかさとは色合いの強度を測定したものです。
- [鮮やかさ]– 最終的な画像の色の強度を制御します。鮮やかさの設定を高くするほど力強い画像になり、低くするほど繊細な画像になります。
- [鮮明度]– 画像の端の定義を制御します。鮮明度の設定を高くするほどはっきりした画像になり、低くするほどソフトな画像になります。
- [ガンマ]– 画像の中レベル グレーまたは中間調に影響を与えるコントラストを制御します。画像のガンマを調整すると、シャドーとハイライトを大幅に変更しないで中範囲のグレー トーンの輝度の値を変更できます。ガンマ設定が低いほどグレーは黒のようになり、暗い色はさらに暗くなります。

[プロパティ]ダイアログ ボックスは、内蔵カメラを使用するさまざまなプログラムから、通常は構成、設定、またはプロパティ メニューを使用して表示できます。

オプティカル ドライブの使用

オプティカル ドライブを使用して CD や DVD の再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアにより、可能な作業は異なります。

取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認

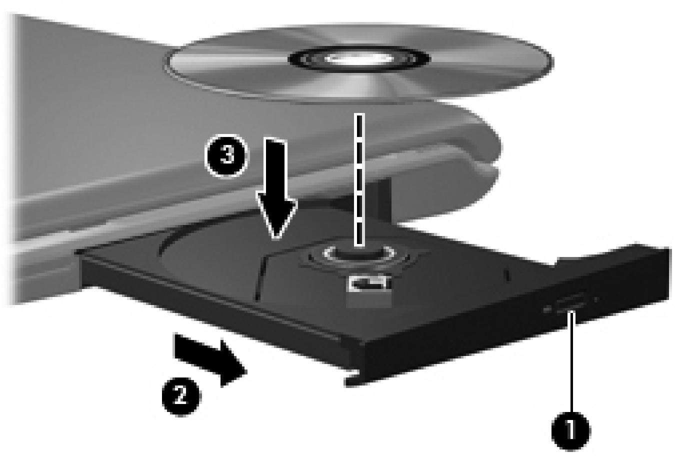
▲ **[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

   注記 トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



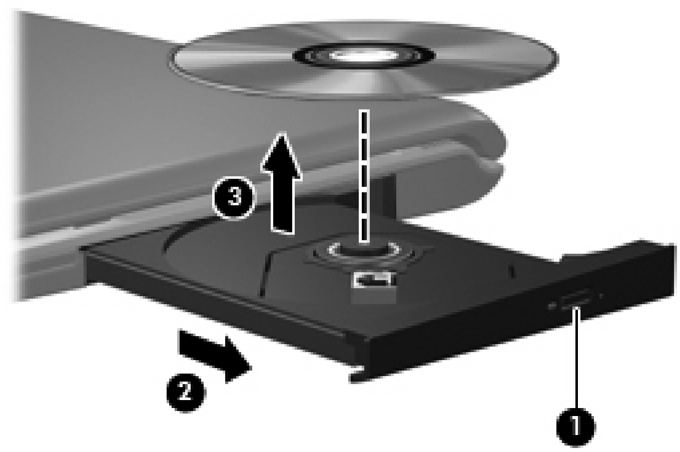
6. メディア トレイを閉じます。

注記 ディスクを挿入した後、少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。 初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、 メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。 ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

   注記 トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

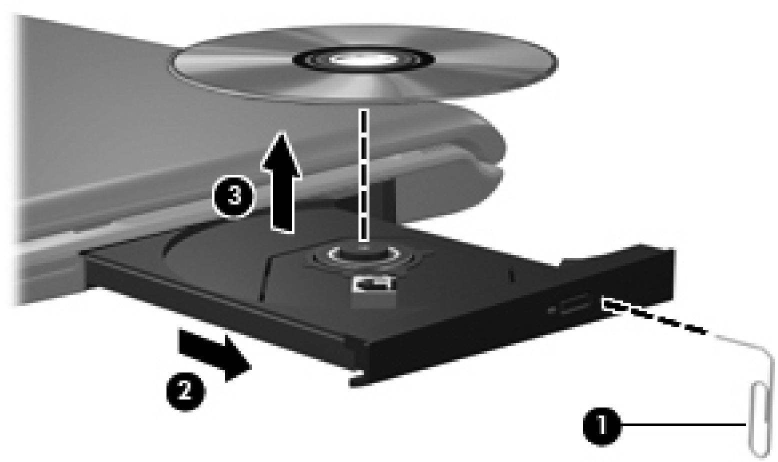


3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。 ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記　トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

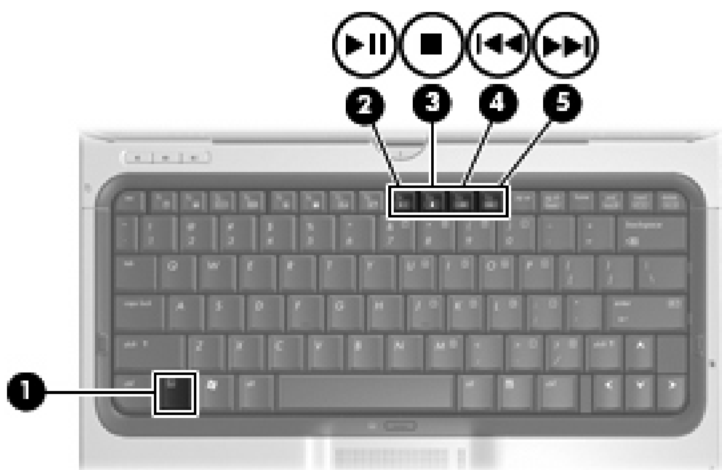
メディア アクティビティ機能の使用

メディア アクティビティ ホットキーとメディア アクティビティ ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカル ドライブに挿入されているオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

メディア アクティビティ ホットキーの使用

メディア アクティビティ ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キーの組み合わせです。

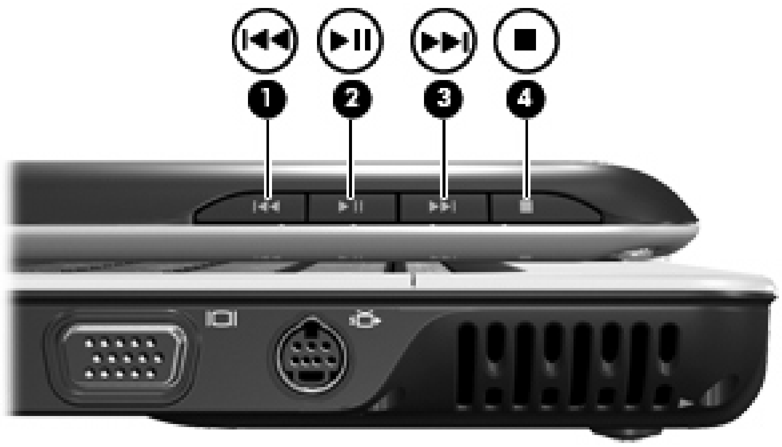
- オーディオ CD や DVD を再生、一時停止、または再開するには、fn+f9 （**2**）を押します。
- 再生中のオーディオ CD または DVD を停止するには、fn+f10（**3**）を押します。
- 再生中の CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、fn+f11（**4**）を押します。
- 再生中の CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、fn+f12（**5**）を押します。



メディア アクティビティ ボタンの使用

次の図と表で、メディア アクティビティ ボタンの機能について説明します。

- 前/巻き戻し（**1**）
- 再生/一時停止ボタン（**2**）
- 次/早送りボタン（**3**）
- 停止ボタン（**4**）



前/巻き戻しボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	前/巻き戻しボタン	前のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn+前/巻き戻しボタン	巻き戻します

再生/一時停止ボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生していない	再生/一時停止ボタン	メディアを再生します
再生中	再生/一時停止ボタン	再生を一時停止します

次/早送りボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	次/早送りボタン	次のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn+次/早送りボタン	早送りします

停止ボタン

メディア状態	ボタン	機能
再生中	停止ボタン	再生を停止します

2 マルチメディア ソフトウェアの操作

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、次のマルチメディアに関する操作がサポートされています。

- オーディオ CD、ビデオ CD、オーディオ DVD、ビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたはムービーの作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み

注意　情報の消失やディスクの損傷を防ぐために、次のガイドラインに従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを、安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハード ドライブにコピーし、その後でハード ドライブからコピー先のディスクにコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

注記　コンピュータに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを開く

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択します。
2. 起動するプログラムをクリックします。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**を選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合、**[Windows Media Player]**をクリックします。

   注記　プログラムがサブフォルダに存在する場合もあります。

2. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

-または-

1. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

   [自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。

2. タスク一覧でマルチメディア タスクをクリックします。

再生時の破損からの保護

再生時の破損のリスクを低減するには、次の手順で操作します。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じてください。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープ状態にしないでください。ハイバネーションまたはスリープ状態にしようとすると、再生を続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

- 再生が再開します。

  -または-

- 再生が停止して画面が消去されます。CD または DVD の再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再起動します。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

注意　DVD ドライブの地域設定を変更できるのは 5 回までです。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブの地域の残り変更可能回数が DVD 地域タブの残り変更回数ボックスに表示されます。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、次の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コンピュータ]→[システム プロパティ]**の順に選択します。
2. 左側のペインで、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記　Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるために、ユーザー アカウント制御機能があります。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの使用、Windows の設定変更などのタスクでは権限やパスワードが必要になる場合があります。詳しくは、Windows のオンライン ヘルプを参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の「+」記号をクリックします。
4. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

著作権の警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送、サウンド録音など、著作権で保護された素材を不正にコピーする行為は対象の著作権法で刑事犯罪とされます。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

索引